

## 第 1 回秩父市総合教育会議議事録

期 日	平成 27 年 5 月 20 日 ( 水曜日 )
時間・場所	17 時 10 分～18 時 30 分・秩父市歴史文化伝承館 2 階庁議室
出席者	<p>久喜市長、新谷教育長、新井教育委員、坂本教育委員、山中教育委員、久保教育委員</p> <p>市長室長、地域政策課長、地域政策課主査、地域政策課主事</p> <p>教育委員会事務局長、教育委員会事務局次長 2 名</p>
会議内容	<p>○挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・秩父の子ども達にずっと秩父に住み続けてもらうことが大切。そのような学校教育を行っていききたい。秩父固有の文化・伝統も守ってほしい。(久喜市長)</li> <li>・教育を施策として展開するためには、市長と教育委員会の連携が大切である。(新谷教育長)</li> </ul> <p>○議事</p> <p>(1) 秩父市総合教育会議設置要綱について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・異議なし。</li> </ul> <p>(2) 秩父市総合教育会議傍聴要領について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・異議なし。</li> </ul> <p>(3) 秩父市教育大綱について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文部科学省の「第 2 期教育振興基本計画」の 4 つの基本的方向性を基に教育大綱を作成するのがよい。この方向性の下に、現在策定中の平成 28 年度からの計画期間となる総合振興計画の基本計画を位置付けられれば良い。総合振興計画と学校スーパープランとの整合性を図る。(新谷教育長)</li> <li>→現在の総合振興計画にある「秩父市環境基本大綱」のように教育大綱を入れたいと考えている。(事務局)</li> <li>→教育大綱は総合振興計画と統一性を持たせるつもりでいる。柱としては「第 2 期教育振興基本計画」の 4 つの基本的方向性が基本となると思うが、子ども達が将来も秩父に住み続けたいと思ってもらえるような項目も教育大綱の柱に加えたい。(久喜市長)</li> <li>・秩父らしさを入れるとともに、グローバルな英語教育を盛り込んでもらいたい。また、秩父の隣組の慣習は全国でも少ない。さらに、秩父にはお祭り、ジオパークなど、身近で手に触れることのできる良いものが多いので、そのような秩父らしい特色あるものを教育大</li> </ul>

綱に盛り込んでもらいたい。(新井教育委員)

- ・今回の教育大綱の策定にあたっては、ゼロからスタートし、総合教育会議の構成員の考えをまとめて策定することなので、それぞれの教育に対する思いを盛り込んでいただきたい。(坂本教育委員)

- ・教育大綱の策定スケジュールはどうなっているか。(久喜市長)

→総合振興計画と並行して策定していくが、10月にパブリックコメントを行い、平成28年1月に内容を確定して、3月議会に報告したいと考えている。そのため、夏過ぎにはある程度のものを固めたい。意見のすり合わせについては、総合教育会議の開催の他、メール等によるやり取りも含め、月1回はコンタクトを取りたいと考えている。

なお、総合教育会議では大きな柱を決めていただき、総合振興計画の基本計画部分にあたる細かい部分は行政等で決めさせていただきたい。(事務局)

#### (4) 意見交換

##### 【新谷教育長】

- ・教育委員会の活性化及び機能強化

→市長と教育委員会の教育政策の共通理解、危機管理体制の確立、教育委員の勉強会、教育政策の分析・評価等。

- ・学力向上及び英語教育

→全国学力調査の結果を踏まえた課題分析及び学校教育の改善、目指すべき学力の方向性の見解統一、学ぶことの必要性・分かることの喜びを子ども達に知ってもらいたい。

- ・秩父の良さを活かした取組み

→学校創造スーパープラン(3)にあるように、体験活動や伝統文化に触れる人間育成を図る。

- ・地域の方の協力による、地域とともにある学校づくり

→地域との結びつきをシステムとして体制づくっていけるように。島根県は全県、京都市は全市でコミュニティスクールを展開している。

- ・特別支援教育の推進

→発達障害の子に対応した、授業のユニバーサルデザイン化。

##### 【坂本教育委員】

- ・確かな学力と規範意識の達成をめざし、知識だけでなく思考力・判断力・表現力・コミュニケーション能力等社会を生き抜く力を身につけさせる。

- ・5年、10年先を見据える。
- ・学校だけでなく、家庭・地域を巻き込んで子どもを育てる。
- ・元気な学校づくりの推進  
→学習意欲の喚起、学習規律の確立、小学校の外国語指導、家庭学習や読書活動の定着化、教職員の資質向上。
- ・家庭・地域の教育力の向上  
→幼児教育、規則正しい生活、いじめ・不登校対策、特別支援学校等との交流、体力向上と安全な学校環境整備、市立病院と保健所・体育館の連携による医療費0を目指したスポーツ推進。
- ・秩父ならではの教育  
→ジオパーク学習、伝統・文化の継承。

#### 【久保教育委員】

- ・総合振興計画の「未来を担う人を育む学校づくり」の施策体系「教育環境の整備」「教育内容の充実」「特色ある教育の実施」は基本としたい。
- ・学力は、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「意欲・関心・態度」で構成されると思う。確かな学力をつけるには、頭だけでなく心が大きく関わっており、目に見えない学力も育てる必要がある。そのためには、家庭・学校・地域での人間関係を豊かにし、強いつながりを持たせることが大切。
- ・教育大綱は、10年やそれ以上先を見据えて秩父全体で作り上げる必要がある。

#### 【山中教育委員】

- ・教育には知徳体の調和が必要。  
→「知」：英語教育、土曜学習、家庭学習の習慣化、読み書きの力  
「徳」：秩父の良さを生かした体験学習、伝統芸能、秩父大好き人間  
「体」：地域との絆づくり、青少年健全育成
- ・現在ある「学校創造スーパープラン」を基本にしてほしい。
- ・子どもの個性を活かし、引き出してほしい。そのために先生の研修も充実してほしい（若手・ベテランの合同研修等）
- ・子どもには、夢、志、誇りを持ってもらいたい。

#### 【新井教育委員】

- ・これまで出た意見で重複するものは多い。
- ・学力テストなどで、子ども一人一人がそれぞれの目標を持ち、その目標を達成することによって勉強することの楽しみを感じてもらいたい。勉強により感じられる大切なものを、子ども自身で「着信」

できる（受け止められる）ような教育としたい。

- ・文化に関しては、お祭り、神楽、ジオパークなど、「生」に触れる活動をしてもらいたい。
- ・スポーツに関しては、部活動をしっかり見られる指導者の環境を整えたい。そのためには外部指導者も積極的に導入してほしい。
- ・また、親にも学校行事に積極的に参加してほしい。学力だけでなく、地域の人との関わりも大切だと思う。地域の人が学校に関わることで、子ども達の生活環境も落ち着き、勉強に集中できるようになる。

○最後に

- ・基礎学力とは、きちんと身に付けることにより、子どもの将来の基礎になるものである。それに必要なものは、「読み書き算盤」と「英語」だと思っている。英語は「学問」ではなく、今後の社会に出て行った際の「手段」だと思う。

これらの基礎学力の向上には何より重点を置きたい。（久喜市長）

○今後について

- ・本日の意見をまとめて皆さんに送る。意見は分野ごとにさらに議論をし、教育大綱としてまとめていく予定。（事務局）

以上